



今年の夏休みも暑い日々が続き、大変だったかと思いますが、日常では味わえないこともあったかと思っています。さて、二学期が始まりました。顔をあわせた途端に「聞いて、聞いて」と休み中の思い出を話してくれる子どもたち。自分のことを人に聞いてもらうことはとても嬉しい体験です。

非日常を楽しむという意味で、年長組の箱根合宿、全園児による園内での夏祭りがあったかと思っています。いつもと違うというだけで、ハードルが高くなる。逆に何をするかわからないけれどウキウキする。人はそれぞれです。すでに幼稚園児の頃から、そのそれぞれの違いが見受けられます。それでも、二つの大きな行事の後の子ども達には、達成感や満足感にあふれていて、実施してよかったと安堵しています。どの行事もコロナ禍ということで、保護者のみな様に時間短縮や分散登園などのご協力をいただいたからこそ可能だった実施でした。心から感謝申し上げます。

箱根合宿では、一人で頑張るのではなく、学級の友達がいることで日常の保育の延長、遠足のような気持ちでスタートしていることがわかりました。貸し切りの宿舎のため、一泊するという緊張感よりも知っている人たちと、安心してグループでおやつ、温泉、みんなでキャンプファイヤー等々、二段ベットで寝る頃にはわくわくとホッとした気持ちで初日を終えていたようです。

夏祭りでは、短時間でしたが中身の濃い行事になりました。盆踊りの後、年少組は4人、年中組は6人、年長組は8人の職員を探してジャンケンで景品をもらうという遊びをしました。サポートする職員にヒントをもらい励まされ、日常ではない園内を満喫したと思います。

毎日繰り返す生活の流れやルーティーン。  
そこに彩りを添える様々な出来事や行事があります。  
二学期は運動会や遠足等盛りだくさんです。  
やってみよう!!楽しんでみよう!!という  
意気込みをもって取り組めるようにしていきます。

